

2022（令和4）年度 第1回苫小牧市美術博物館協議会

日 時：2022年11月16日（水）

13時30分～14時40分

会 場：苫小牧市美術博物館 1階研修室A

出席委員 内海委員、大塚委員、菊地委員、木村委員、斎野委員、  
田中委員、中村委員、林委員、山田委員、渡邊委員

事務局

（教育部）山口部長

（美術博物館）藤原館長、細矢主査、遠藤主査、江崎主査、岩波学芸員、  
沖津主任学芸員、立石学芸員、佐藤学芸員、岡本学芸員

（欠席）小杉学芸員

- 
- |   |                  |               |
|---|------------------|---------------|
| 1 | 開会               | （進行）遠藤主査      |
| 2 | 委嘱状交付            | 山口教育部長        |
| 3 | 挨拶               | 山口教育部長        |
| 4 | 委員紹介             | 出席委員全員及び事務局職員 |
| 5 | 正・副会長の選出         |               |
|   | 会長               | 斎野委員を選定       |
|   | 副会長              | 林委員を選定        |
| 6 | 正・副会長挨拶          |               |
| 7 | 議事               |               |
|   | （1）令和3年度事業報告について |               |
|   | （2）その他           |               |

斎野会長（議事進行）

現在、美術博物館はどのような方針に基づいて活動しているのか、そして、館の目指す方向について館長から各委員に説明をお願いします。

館長

「苫小牧市美術博物館実施計画 第3期（令和2年度～4年度）」美術博物館実施計画を元にどのような方針に基づいて活動しているかについて説明します。

美術博物館の活動基本方針である、「あつめる」、「そだてる」、「ひろがる」の3つのテーマを踏まえて展示事業や教育普及事業に取り組んでいます。

また、この計画は今年度が最終年度で、現在、第4期の計画を策定中であり、新たな計画は、改めて委員にお示しし、意見を伺うこととなりますので、よろしくをお願いします。

## 会長

次に、議事1「令和3年度事業報告」について事務局より説明をお願いします。

## 事務局

「苫小牧市美術博物館年報 令和3年度」に基づき実施した事業報告について説明します。(1) 展示事業では、特別展、企画展、収蔵品展、中庭展示を実施しました。次に(2) 教育普及事業では、美術博物館大学講座、体験プログラム、学校連携プログラム、その他の教育普及事業を実施しました。続いて(3) 資料の収集・保存では、資料の増加状況、寄贈資料、利用状況について、調査研究事業では、広報・CS向上、市民協働、埋蔵文化財の保護、展示室貸出事業、研修、市史編纂事業を実施しました。最後に入館者数ですが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月17日から6月20日まで及び8月28日から9月30日まで期間を臨時休館した結果、令和3年度の入館者数は18,362人でした。

引き続き「令和3年度 勇武津資料館事業報告」ですが、2つの大きな柱である教育普及事業並びに学習・文化活動の支援について実施しました。

## <質疑応答>

### 議長

委員の皆様からご意見・ご質問はございますか。

### 委員

入館者数は、市内の人なのか市外の人なのか分けて集計しているのか、それから大人、高・大・小・中学生と分けているが年齢層はどういった人たちが多くのか、また、年齢別の集計は取っているのか。

次に市史編纂事業だが苫小牧市史は、いつ発行予定なのか教えていただきたい。

### 館長

入館者数ですが、市内・市外に分けての集計を取っていません。また、高・大・小・中学生ですが、受付で学校区分は聞いて確認していますが、年齢層の把握はしておりません。

次に、市史編纂についてですが、市史につきましては別に審議会を持っており、そこで今後の計画等について議論させていただいているところです。

### 委員

他からは、苫小牧の歴史は面白い、イベント等もいろいろと実施している博物館だということが聞こえてくるが、市外などへはどういった情報の発信をしているのか。

### 館長

ポスター・チラシの配布やツイッター、フェイスブックなどのSNSを活用しての情報発信や試験的に札幌のチカホを活用してPRの等も行っているが、もっといろいろは方法でPRに努めていきたいと考えています。

会長

他にありませんか  
なければ事務局からその他についてありますか

館長

最後に「事業評価報告書」の作成にあたってのご協力について説明します。

自己評価報告書は、自分たちの活動を振り返り、課題や反省を自覚し、改善点の検討につなげるために実施しているものです。

一次評価として我々自ら、評価指標や具体的な取組内容を元に評価を行います。その評価結果を委員の皆様へ提出させていただき、皆様の目線でチェックいただきたいと考えています。以上、よろしく願いいたします。

副会長

美術博物館を観覧したい方々のニーズに合わせて集客を目指し、内部で企画展・特別展について話し合い、市民・市外へ広げていく方法を考えていってほしい。

会長

それでは、これで第1回苫小牧市美術博物館協議会を終了いたします。

以 上